



ここは、とある町にある一風変わった診療所。悩みを抱えたユーザインタフェースたちがやってきます。Dr. ナカムラと一緒に病気を治してあげましょう。さて、今日の患者さんは、どんな悩みを抱えているのでしょうか・・・

Dr. N 「次の方どうぞ～」

患者 「おはようございます」

Dr. N 「おはようございます。どうされました？」

患者 「私はデジタルカメラのインタフェースです。ご主人様にも気に入られて、日々沢山の写真の撮影を頑張っています。ただ、先日ご主人様が帰られた時にがっかりして・・・」

Dr. N 「どうかしたのですか？」

患者 「はい、数百枚撮ったはずの写真が全く記録できていませんでした」

Dr. N 「消えてしまったのですか？」

患者 「いえ、そもそも記憶するためのカードが挿入されていませんでした」

Dr. N 「それじゃあ撮れるはずはありませんよね。しかし、カードが挿入されていないことにあなたの所有者は気づいていなかったのですか？」

患者 「私はカードが挿入されていないことを撮影のたびにご主人様にお伝えしていたのですが、気づいてもらえませんでした」

Dr. N 「ちょっと診せてもらえますか？」

患者 「はい。カードが入っていない場合はこんな感じにディスプレイに表示しています (図1)。」



図1 NO CARD

Dr. N 「なるほど。小さいですが、画面の左上にオレンジ色で「NO CARD」と表示されていますね」

患者 「はい。でも気づいてもらえませんでした。ご主人様以外にも、3人の方に撮影して貰っていたのですが、誰も気づいてくれませんでした」

Dr. N 「なるほど。画面の端に小さく表示されているだけですからね。ひとはやはりディスプレイに表示されている撮影対象に注目しているので、画面の端には目が行きにくいんです。本当は画面中央にこれくらい大きく表示して欲しいところですが・・・(図2)」



図2 こんな感じで出して欲しい

(カシャッと撮影した音)

Dr. N 「あれ？この状態でも普通に撮影できて、しかもどのように撮影できたかまで確認できるんですね (図3)」



図3 撮影した状態

患者 「はい。撮影したものを拡大縮小することもできますよ！」

Dr. N 「ほう。じゃあ、カードが無い状態でもカメラの内蔵メモリか何かに保存されているのですか？」

患者 「いいえ、消えます」

Dr. N 「えっ？ではこれは何のための機能なんですか？」

患者 「もちろん、店頭での試し撮りに決まってるじゃないですか！これがあるのと無いのとでは売れ行きが全然違うんですよ！カード盗難の心配も無いですし」

Dr. N 「それは買うまでの話でしょう。買ってからは不要なばかりか、むしろ今回のような悲劇の原因になってしまいます。販売用のデモモードが必要であれば、特定の操作を

した場合だけ有効になるようにすべきです」

患者「それだと販売店に嫌がられるんです・・・」

Dr. N「確かにこれだと、撮影できたと勘違いしてしまい、カードを挿入していないことに気づきにくいでしょうね」

Dr. N（色々試しながら）「あれ？色々撮影していたら、NO CARDの表示が消えてしまいましたよ（図4）」



図4 オートマクロモードの表示でNO CARDが消える

患者「ああ、これは被写体に近寄ったからですね。接写の場合はマクロモードの方が綺麗に撮れるので、自動でマクロモードに変更してるんですよ！凄いですよね！オートマクロモードに入ったことを伝えるため、この場合にはNO CARDを消しています」

Dr. N「えっ？マクロモードであることより、カードが無いということを伝えるほうが重要ではないですか？」

患者「私のイチオシの機能なので強調表示になっているんですが・・・確かに言われてみればそうですね」

Dr. N「ともあれ、所有者の他に3名の方が合計数百枚撮影していて、誰も気づかなかったというのはちょっと酷すぎますね。確かにNO CARDという表示方法は問題ですが、話を聞いているとそもそもユーザの立場に立ってモノ造り

をしていない感じがします」

患者「すみません。私としてもご主人様の悲しむ顔は見たくないので、今度のバージョンアップで直して貰うようにします」

Dr. N「どうやら、何が問題かがおわかりになったかと思えます。処方を書いておきますので、治してもらってください。これであなたのご主人様が悲しむことはなくなると思えますよ。また何かありましたら来てください。それではお大事に！」

患者「ありがとうございました」

今回の症例はいかがでしたか？読者の皆さんも、なぜこのような問題が発生したのか、どうすれば改善できるのかを考えてみてください（下のカルテに一例がありますが、もちろん答えはこれだけではありません）。なお、よりよい改善方法を思いついた方や、Dr. ナカムラに診てもらいたい患者をご存じの方は、<http://badui.org/> にご一報ください。



担当医：Dr. ナカムラ

BADUI 蒐集家。

日々新たなBADUIとの出会いを求め、カメラ片手に世界を飛び回る。

捕獲した貴重な品々は「楽しいBADUIの世界」<http://badui.org/>にて公開中。

Dr. トモクフのUIトリビア

デジタルカメラなどの回転式モードダイヤルの位置判定には、「グレイコード：Gray code（交番二進）」という符号形式が使われておるぞ。普通の二進とは違って、隣接コード間では1ビットだけ変化するのが特徴じゃ。仮にダイヤルが途中で止まっても、隣り合うどちらかのモードだと認識されるので、予想外の動作をするのを防げるんじゃ。もっとも、ダイヤルが途中で止まらないような構造にするのが先じゃがな。

診療カルテ	
ID	BADUI-003
氏名	デジタルカメラ
原因・主要症状・経過など	カードホルダの写真が記録できなかった。 NO CARDに気づいてもらえない ニピト表示 (気づきにくい) <ul style="list-style-type: none"> 表示が小さい 他のキノウに書き カードが無くとも撮影でき(もう記録はしない) 販売促進用
処方・手術・処置など	<ul style="list-style-type: none"> NO CARDを大きく表示! 他のキノウ説明で重要な情報を消さない!(マクロ<NO CARD) デモモードは無くす!! (販促は重要だが買った後のことをしっかり考えよ!!)
	2012/10/04 ・利用者がカード挿入忘れ ・しっかり通知しているが気づかれないとのこと →通知方法に問題アリ? ・NO CARDの表示が小さい ・カードが無くとも記録したような挙動 ・他のキノウでNO CARD表示を消す 利用者の事を全く考えない!! ・ソフトウェアのアップデートで対応。以後様子を見る 中村 聡史 (京都大学)